

# 下水道事業中長期経営計画の見直し (令和3～14年度)

令和4年10月31日(月)

令和4年度第1回千葉市下水道事業経営委員会

# 目次

## 1 下水道事業中長期経営計画の見直し

- (1) 計画見直しの必要性・・・・・・・・・・ P.2
- (2) 建設企業債借入額と下水道普及率の推移・・・・ P.4
- (3) 使用料収入と維持管理費等の推移・・・・ P.5

## 2 経営を圧迫する要因

### (1) 下水道使用料

- ①下水道使用料業態別 年度比較・・・・・・・・ P.7
- ②下水道使用料の推移・・・・・・・・ P.8
- ③下水道使用料収入の推計・・・・・・・・ P.9

### (2) 管路の維持管理

- ①要望・苦情件数及び維持管理費(管路)の推移・・・・ P.10
- ②維持管理費(管路)の今後の見通し・・・・・・・・ P.11

### (3) 処理場・ポンプ場の維持管理

- ①維持管理費(処理場・ポンプ場)の推移・・・・ P.12
- ②維持管理費(処理場・ポンプ場)の今後の見通し・・ P.13
- ③燃料価格及び燃料調整費の推移(H31～)・・・・ P.14

## 3 資金収支推計(令和4年8月時点)

- (1) 収支推計結果・・・・・・・・ P.16
- (2) 資金収支不足の増加要因・・・・・・・・ P.17
- (3) 県内他市との使用料水準比較・・・・・・・・ P.18
- (4) 他政令都市との使用料水準比較・・・・・・・・ P.19

# 1 下水道事業中長期経営計画の見直し

## (1) 計画見直しの必要性

下水道事業を取り巻く環境

- 近年の局地的な大雨等の自然災害の増加
- 老朽化施設の増加に伴う維持管理・改築等の経費の増加
- 人口減少社会の到来による下水道使用料収入の減少

- 計画期間中の資金収支では約50億円のマイナスとなり、資金不足が見込まれていた。  
※ 期間中の資金不足を収支均衡させるため、下水道使用料の約4%の改定を見込んでいた。
- この資金不足を賄うため、**令和5年度を目途に下水道使用料の改定を予定**



**新型コロナウイルス感染症等の影響により、市民生活や市内経済に大きな影響が生じている。**

- 新型コロナウイルス感染症の影響による下水道使用料の減収
- 物価高騰や燃料費等の上昇による処理場・ポンプ場の維持管理費の増加

**さらなる資金不足が見込まれるため、計画の見直しを進めている**

# 下水道事業中長期経営計画の見直し

○何故、経営状況が厳しいのか。

○今後、経営を圧迫する要因

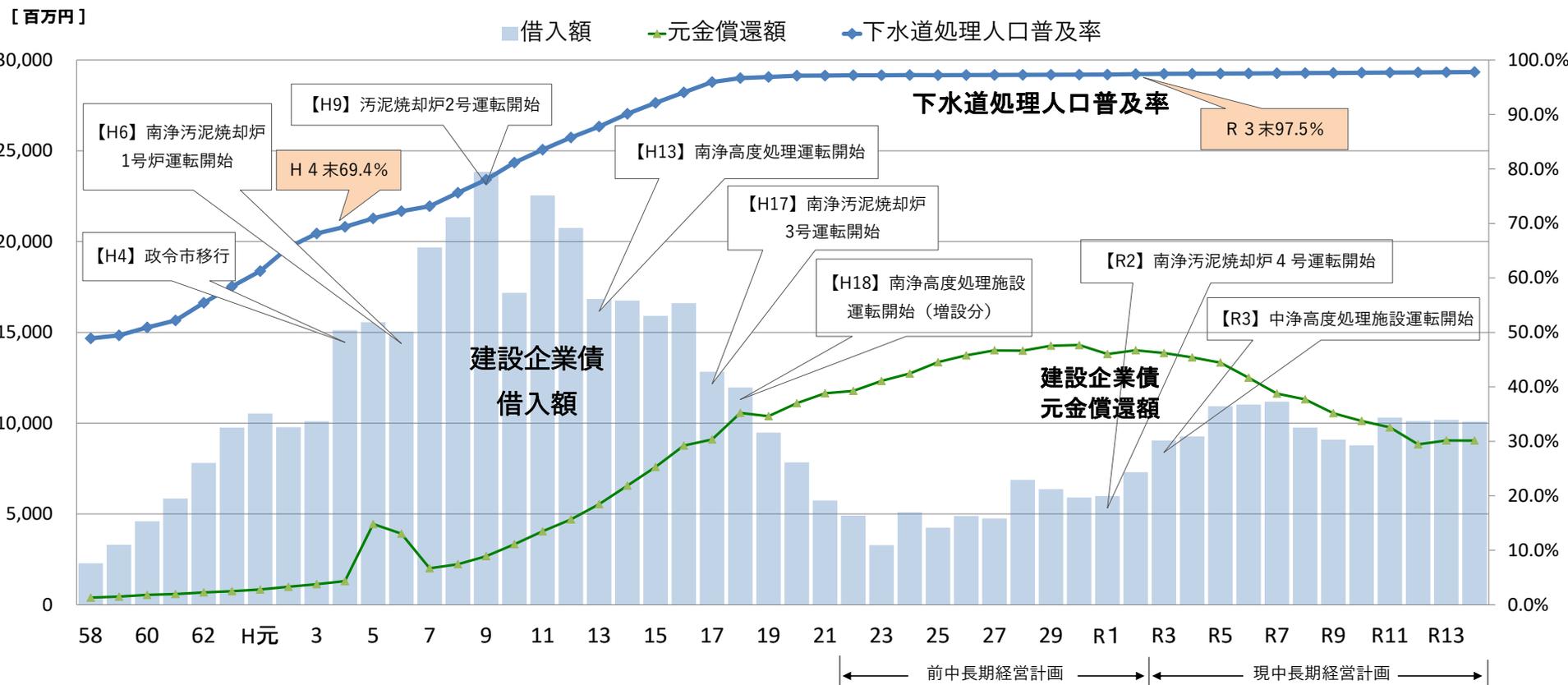
- ・ 下水道使用料
- ・ 管路の維持管理
- ・ 処理場・ポンプ場の維持管理

○資金収支推計（令和4年8月時点）

# 1 下水道事業中長期経営計画の見直し

## (2) 建設企業債借入額と下水道普及率の推移

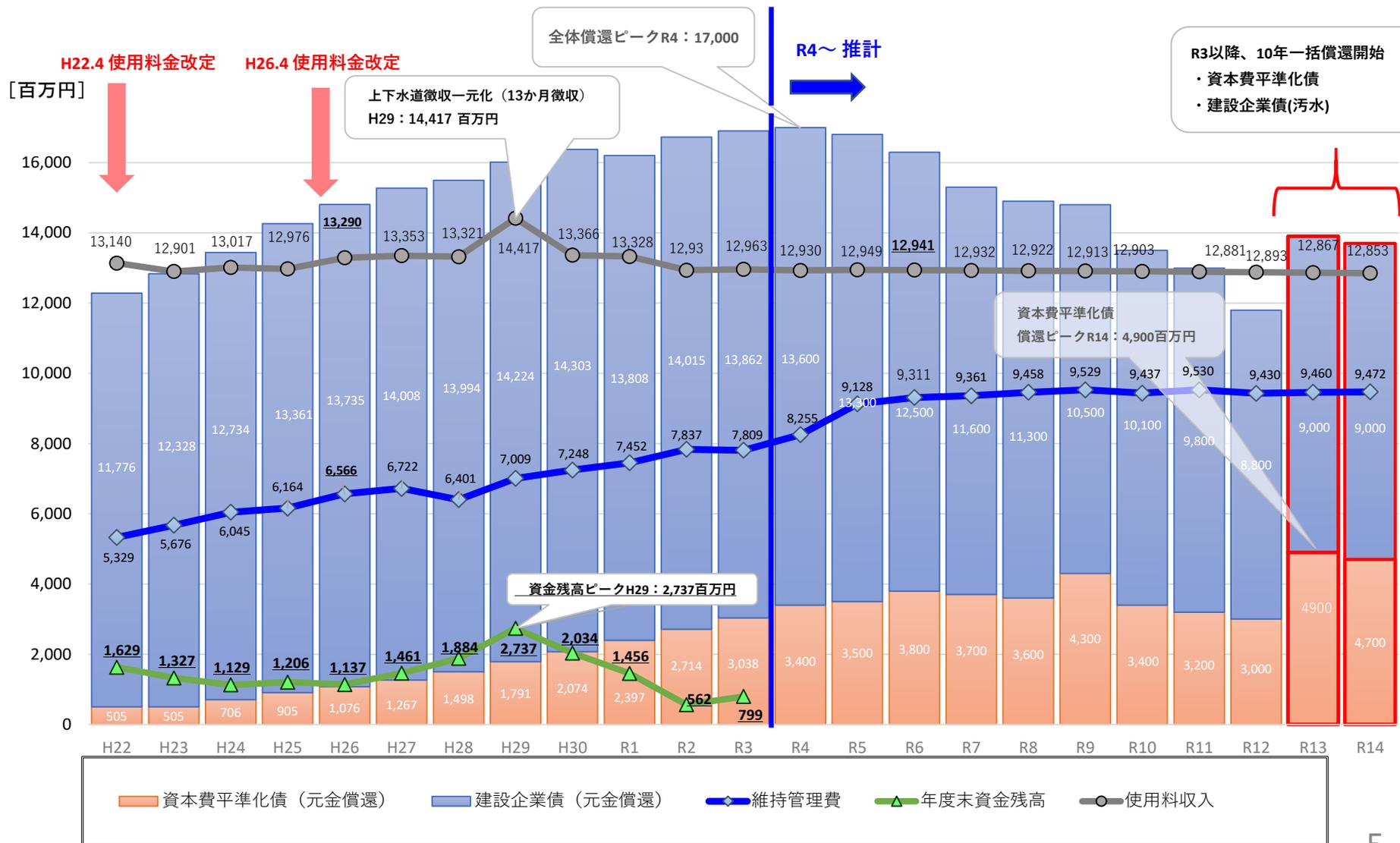
建設企業債借入額と償還額の推移



計画期間中、  
企業債元金償還額が高止  
まりで推移していく

# 1 下水道事業中長期経営計画の見直し

## (3) 使用料収入と維持管理費等の推移



## 2 経営を圧迫する要因

○何故、経営状況が厳しいのか。

○今後、経営を圧迫する要因

- ・ 下水道使用料
- ・ 管路の維持管理
- ・ 処理場・ポンプ場の維持管理

○資金収支推計（令和4年8月時点）

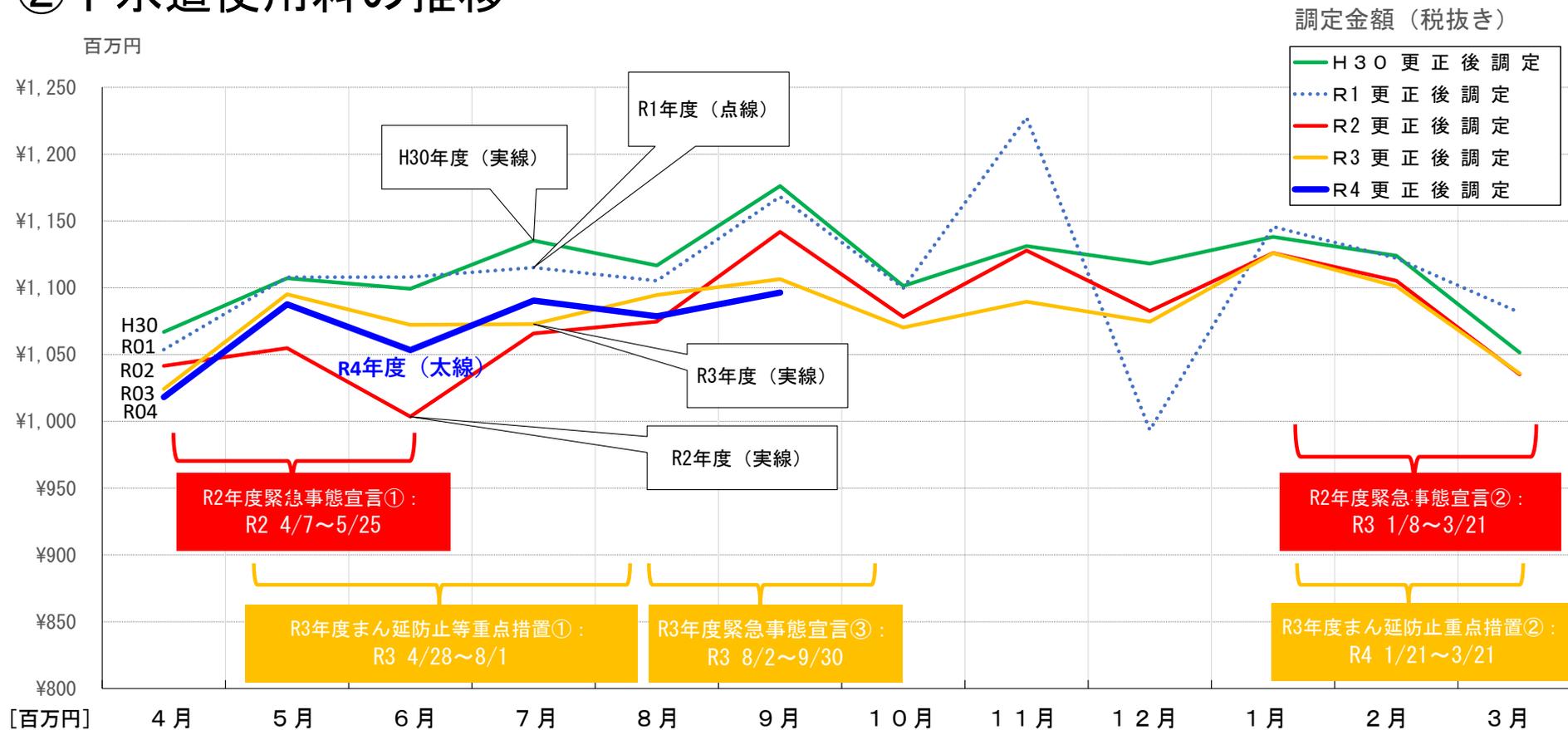
## 2 経営を圧迫する要因（1）下水道使用料

### ①下水道使用料業態別 年度比較

	件数				水量(千m3)				金額(千円)			
	R元	R2	R3	(R3-R元)	R元	R2	R3	(R3-R元)	R元	R2	R3	(R3-R元)
家事用	2,437,011	2,482,549	2,537,433	100,422	80,056	84,036	83,717	3,661	9,752,443	10,265,883	10,237,211	484,768
全体比	97.4%	97.5%	97.6%	—	83.4%	86.2%	85.9%	—	67.3%	72.1%	71.8%	—
一般商店	21,842	21,612	21,608	▲ 234	1,221	1,125	1,084	▲ 137	239,946	215,258	204,724	▲ 35,222
クリーニング店	994	987	978	▲ 16	202	131	156	▲ 46	62,991	37,420	47,172	▲ 15,819
理・美容院	4,020	3,978	3,960	▲ 60	145	143	139	▲ 6	18,745	18,521	18,317	▲ 428
豆腐製造業	266	267	266	0	11	11	11	0	1,806	1,721	1,645	▲ 161
飲食店	9,532	9,394	9,349	▲ 183	871	719	682	▲ 189	182,208	144,196	137,889	▲ 44,319
百貨店	912	903	904	▲ 8	1,127	958	990	▲ 137	375,890	317,663	329,207	▲ 46,683
公衆浴場	124	117	108	▲ 16	93	46	29	▲ 64	23,471	6,505	369	▲ 23,102
会社事務所	9,187	9,055	9,026	▲ 161	2,401	2,051	2,041	▲ 360	720,592	605,276	602,137	▲ 118,455
その他営業	4,942	4,851	4,843	▲ 99	1,687	1,305	1,343	▲ 344	502,807	373,081	384,496	▲ 118,311
宿泊施設	361	356	334	▲ 27	1,054	640	803	▲ 251	370,788	218,053	284,017	▲ 86,771
劇・娯楽場	288	286	267	▲ 21	248	218	220	▲ 28	84,420	74,876	75,995	▲ 8,425
病院	3,209	3,159	3,158	▲ 51	1,380	1,302	1,236	▲ 144	442,926	419,773	396,431	▲ 46,495
上水型工場	161	156	156	▲ 5	399	372	384	▲ 15	149,452	140,702	145,728	▲ 3,724
その他工場	2,039	2,022	2,019	▲ 20	1,433	1,316	1,369	▲ 64	469,830	433,549	455,144	▲ 14,686
小計	57,877	57,143	56,976	▲ 901	12,272	10,337	10,487	▲ 1,785	3,645,872	3,006,594	3,083,271	▲ 562,601
全体比	2.3%	2.2%	2.2%	—	12.8%	10.6%	10.8%	—	25.2%	21.1%	21.6%	—
官公署・学校	3,494	3,463	3,428	▲ 66	1,980	1,713	1,785	▲ 195	567,991	488,917	511,316	▲ 56,675
その他公共施設	2,655	2,659	2,626	▲ 29	1,708	1,408	1,450	▲ 258	518,126	469,493	427,025	▲ 91,101
小計	6,149	6,122	6,054	▲ 95	3,688	3,121	3,235	▲ 453	1,086,117	958,410	938,341	▲ 147,776
全体比	0.2%	0.2%	0.2%	—	3.8%	3.2%	3.3%	—	7.5%	6.7%	6.6%	—
計	2,501,037	2,545,814	2,600,463	99,426	96,016	97,494	97,439	1,423	14,484,432	14,230,887	14,258,823	▲ 225,609

# 2 経営を圧迫する要因（1）下水道使用料

## ②下水道使用料の推移



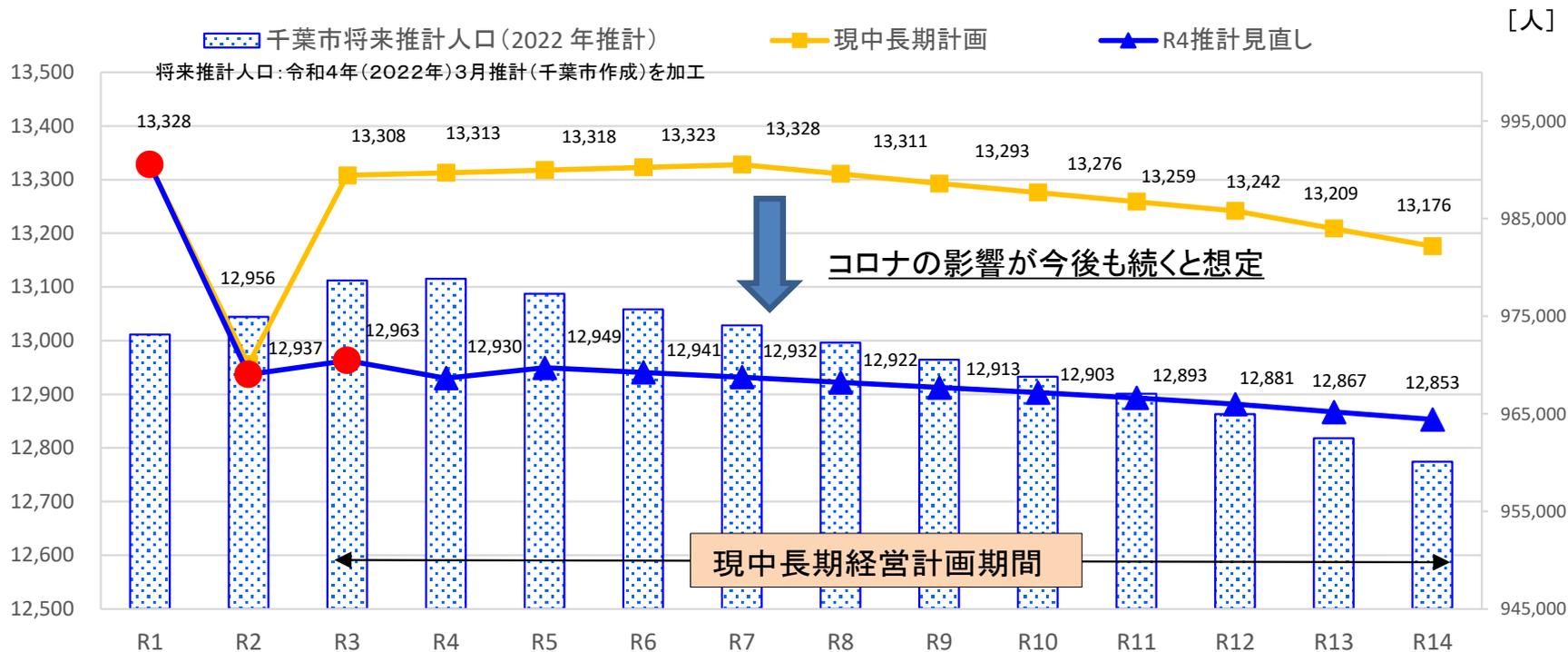
[百万円]	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H30年度	1,067	1,107	1,099	1,135	1,117	1,176	1,101	1,131	1,118	1,138	1,124	1,052
R1年度	1,054	1,108	1,108	1,115	1,105	1,168	1,100	1,227	994	1,146	1,122	1,081
R2年度	1,041	1,055	1,004	1,066	1,075	1,142	1,078	1,128	1,083	1,126	1,105	1,035
R3年度	1,024	1,095	1,072	1,073	1,095	1,106	1,070	1,090	1,075	1,126	1,101	1,036
R4年度	1,018	1,088	1,053	1,090	1,079	1,096						

# 2 経営を圧迫する要因（1）下水道使用料

[百万円]  
(税抜き)

● : 決算額

## ③下水道使用料収入の推計



	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
現中長期計画	13,328	12,956	13,308	13,313	13,318	13,323	13,328	13,311	13,293	13,276	13,259	13,242	13,209	13,176
R4推計見直し	13,328	12,937	12,963	12,930	12,949	12,941	12,932	12,922	12,913	12,903	12,893	12,881	12,867	12,853
差額 [百万円]	0	▲ 19	▲ 345	▲ 383	▲ 369	▲ 382	▲ 396	▲ 389	▲ 380	▲ 373	▲ 366	▲ 361	▲ 342	▲ 323

### 【推計見直し方法】

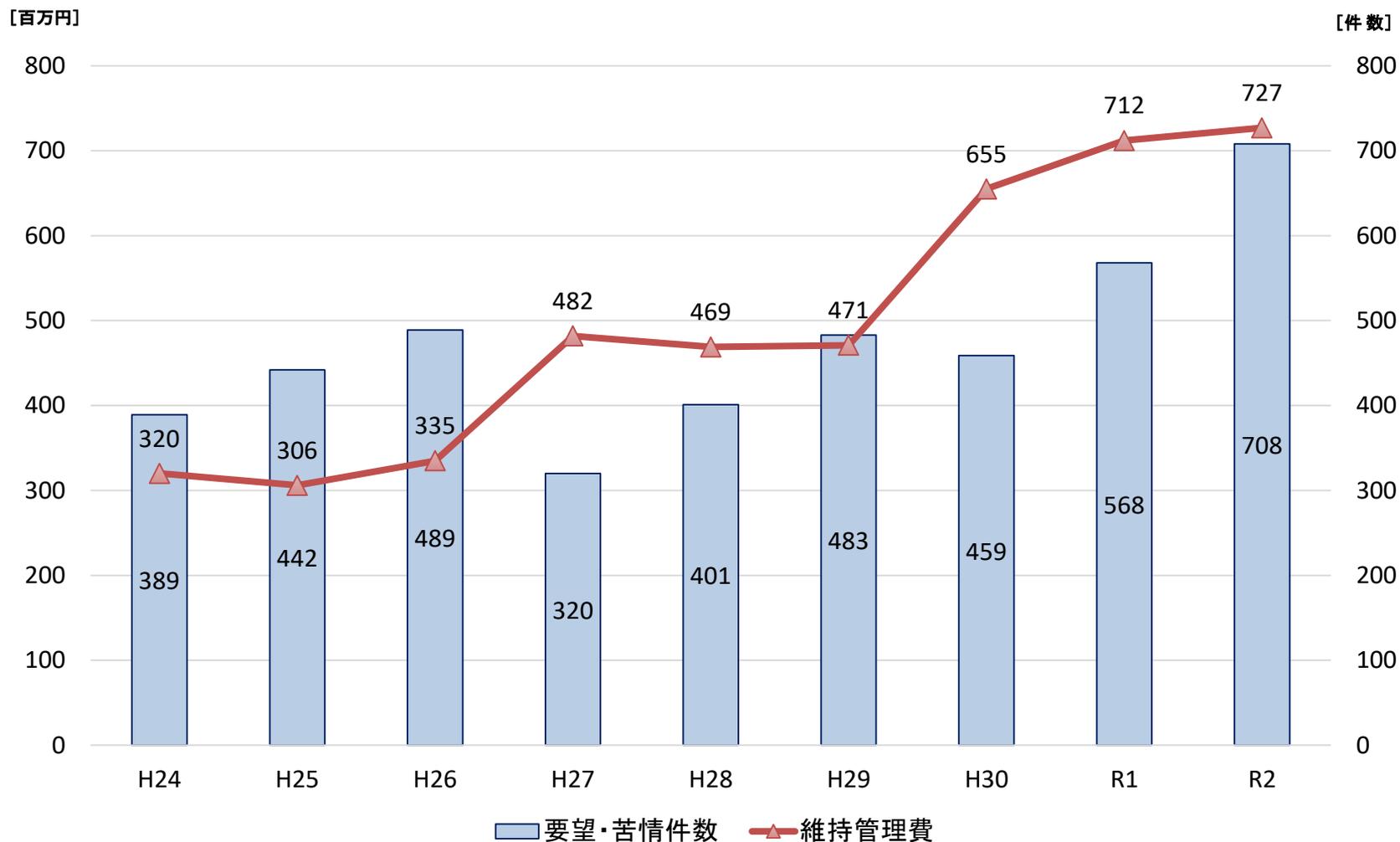
- ・将来推計人口：平成30年(2018年)3月推計「千葉市将来人口推計に基づく試算値」→令和4年(2022年)3月推計(千葉市作成)に見直した。
- ・汚水区分、水量ランクごとに、「調定件数」「原単位」をR3と同等の調定件数構成比及びR2～R3実績平均に修正し、使用料収入を見直した。

## 2 経営を圧迫する要因（2）管路の維持管理

### ①要望・苦情件数及び維持管理費（管路）の推移

老朽化した下水道施設の増加に伴い、要望・苦情件数が増加傾向である。

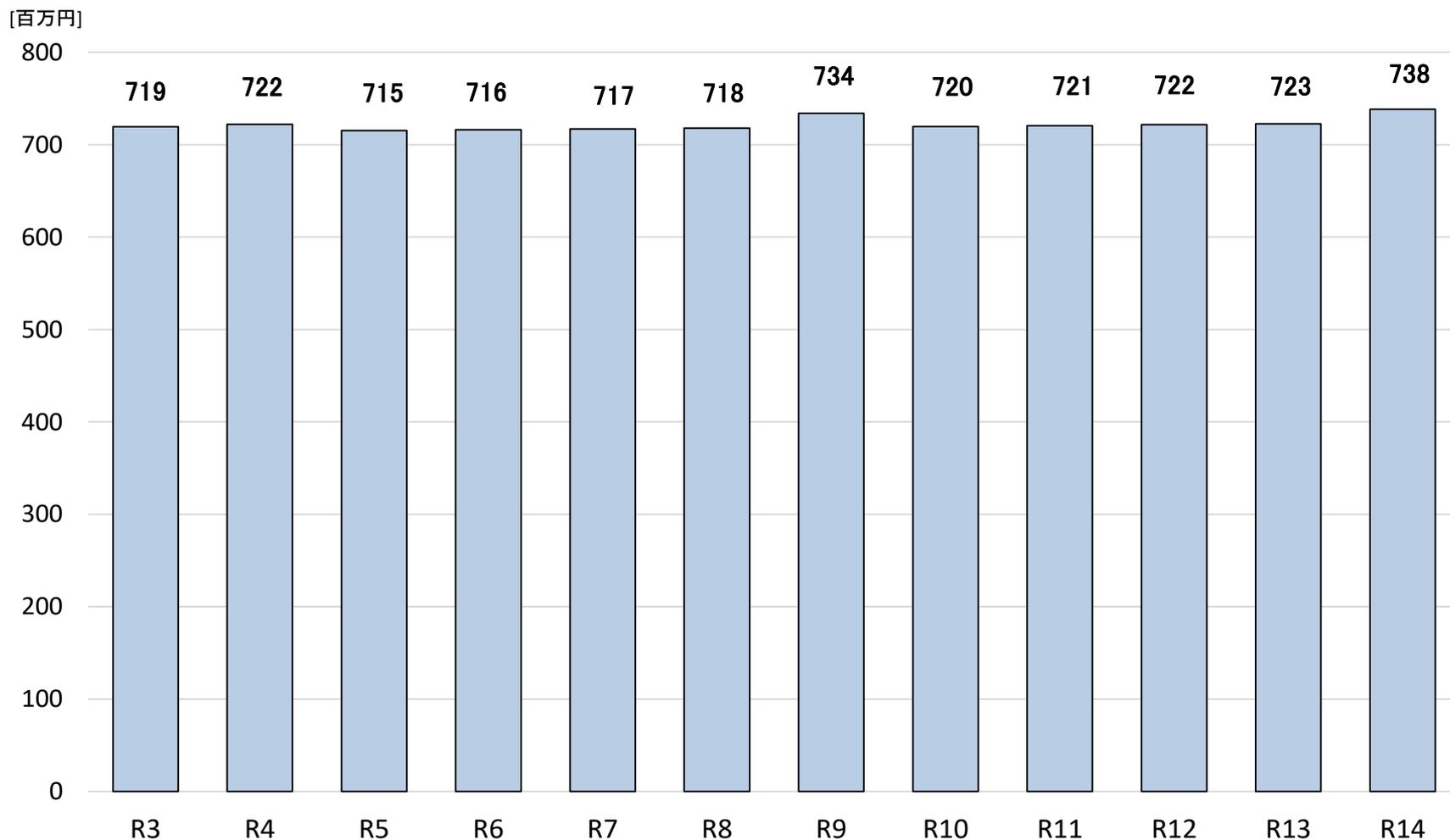
また、施設の点検・調査・修繕の費用も増加傾向にある。



## 2 経営を圧迫する要因（2）管路の維持管理

### ②維持管理費（管路）の今後の見通し

今後とも老朽化した下水道施設の点検・調査・修繕の費用が増加傾向を見込む。



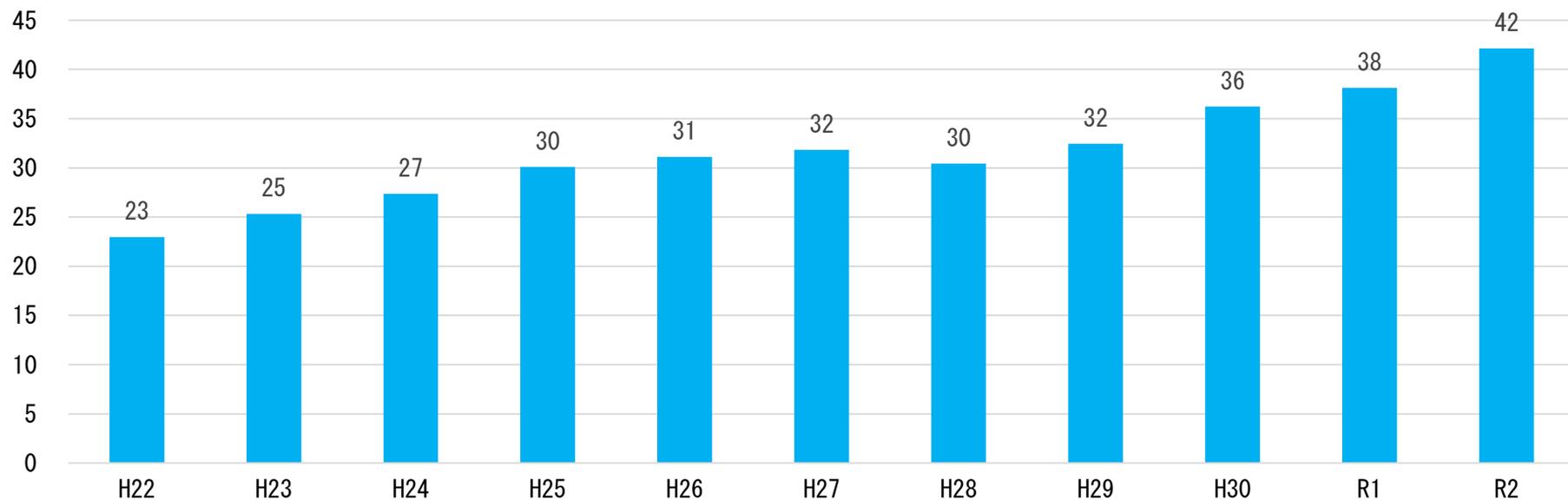
## 2 経営を圧迫する要因（3）処理場・ポンプ場の維持管理

### ①維持管理費（処理場・ポンプ場）の推移

平成22年度から令和2年度にかけて、老朽化した施設の増加に加え、施設の増設や労務費の増加により、維持管理費が増加傾向となっている。

維持管理費（処理場・ポンプ場）の推移

億円（税抜き）

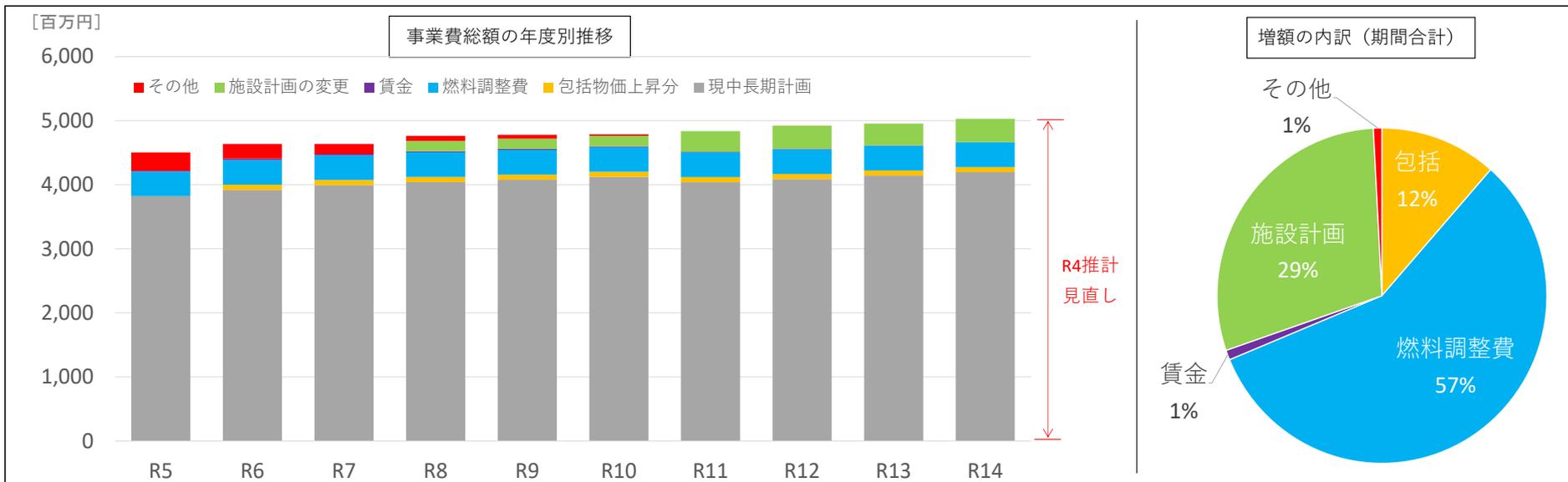


## 2 経営を圧迫する要因（3）処理場・ポンプ場の維持管理

### ②維持管理費（処理場・ポンプ場）の今後の見通し

物価上昇等により、当初計画よりも維持管理費が増加している。

また、増加額の内訳では、燃料調整費が約6割を占めている。

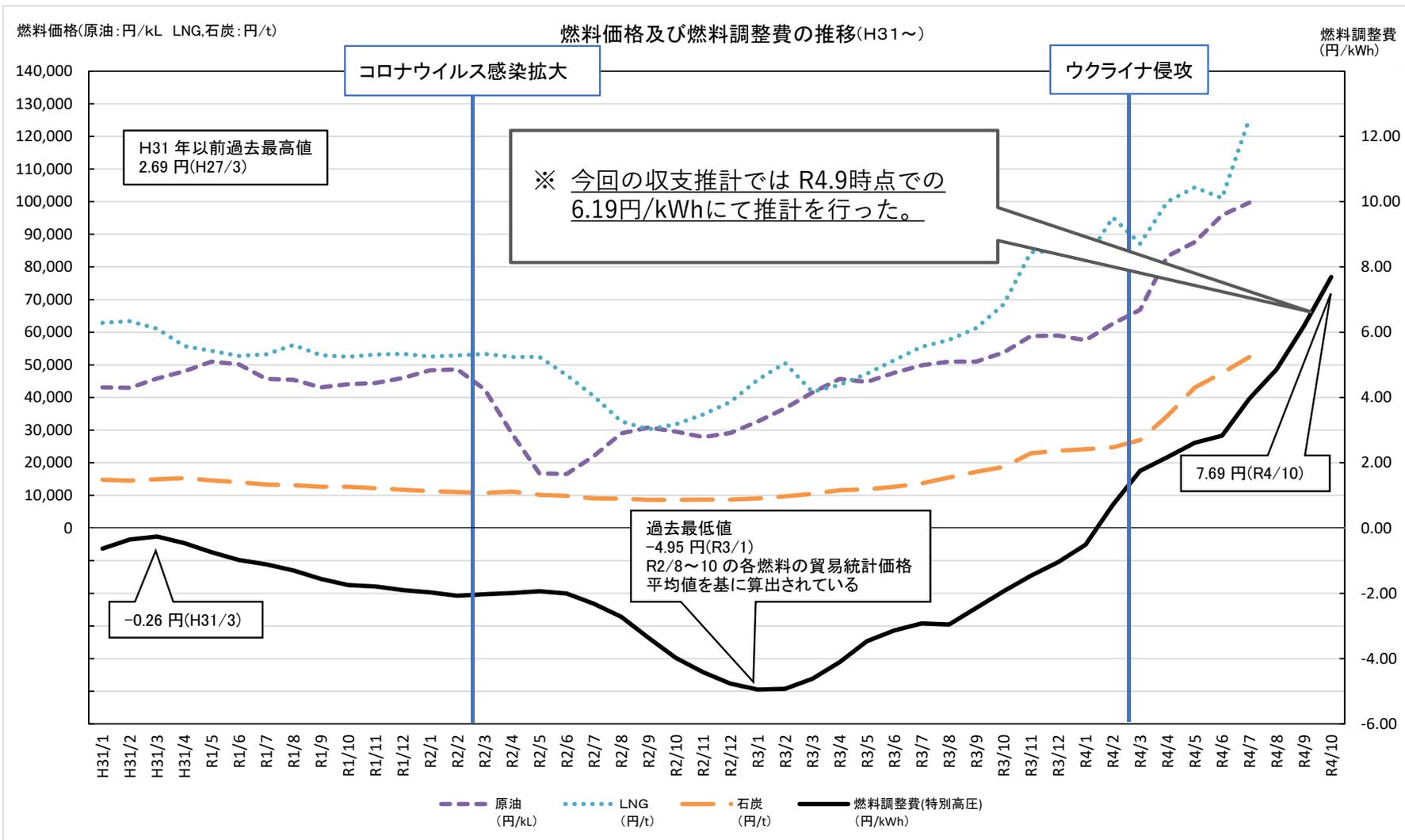


<参考> 令和3年度における年間使用電力

中央浄化センター	処理場・ポンプ場	8 4 6 万kwh
南部浄化センター	処理場・ポンプ場	3, 2 6 0 万kwh
計		4, 1 0 6 万kwh

## 2 経営を圧迫する要因 (3) 処理場・ポンプ場の維持管理

### ③ 燃料価格及び燃料調整費の推移 (H31～)



# 下水道事業中長期経営計画の見直し

○何故、経営状況が厳しいのか。

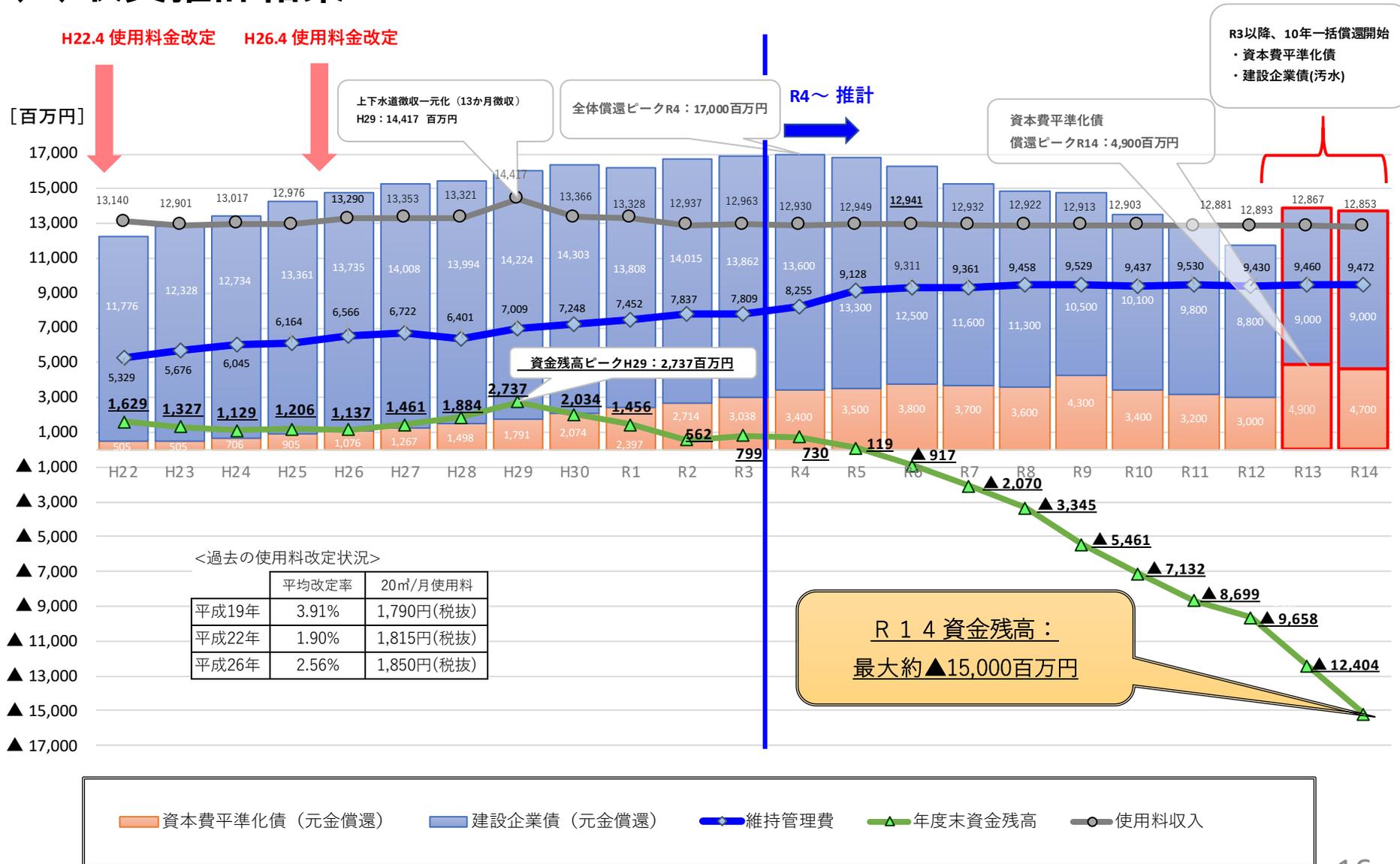
○今後、経営を圧迫する要因

- ・下水道使用料
- ・管路の維持管理
- ・処理場・ポンプ場の維持管理

○**収支推計結果（令和4年8月時点）**

# 3 資金収支推計（令和4年8月時点）

## (1) 収支推計結果



# 3 資金収支推計（令和4年8月時点）

## (2) 資金収支不足の増加要因

### <主な原因>

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による継続的な下水道使用料の減少  
【期間中: △約41億円】
- ・物価高騰や燃料費等の上昇による処理場・ポンプ場の維持管理(包括的民間委託)に係る経費等  
【期間中: △約37億円】
- ・下水道使用料改定時期変更による影響  
【期間中: △約11億円】
- ・流域下水道建設負担金の増額  
【期間中: △約11億円】

※【 】内は、計画期間における資金残高影響額

社会情勢を見据えた資金収支推計見直しの結果、  
計画期間中**最大約150億円**の資金不足が見込まれる

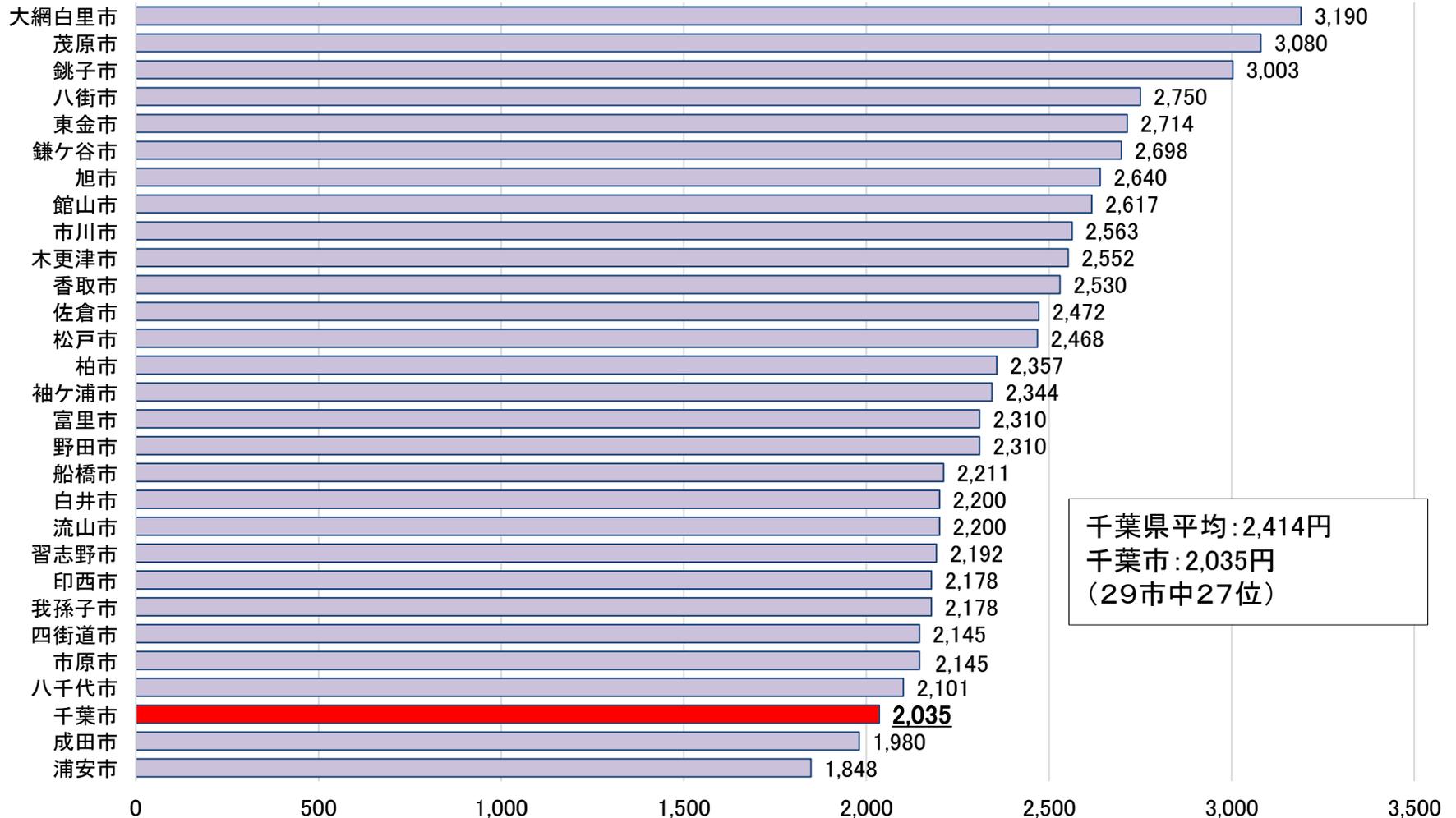
# 3 資金収支推計（令和4年8月時点）

## (3) 県内他市との使用料水準比較(試算)

令和3年3月31日現在(税込)

### 1世帯1か月当たり20m<sup>3</sup>使用料(一般)

※ 単独で事業を行っている千葉県内の市のみ



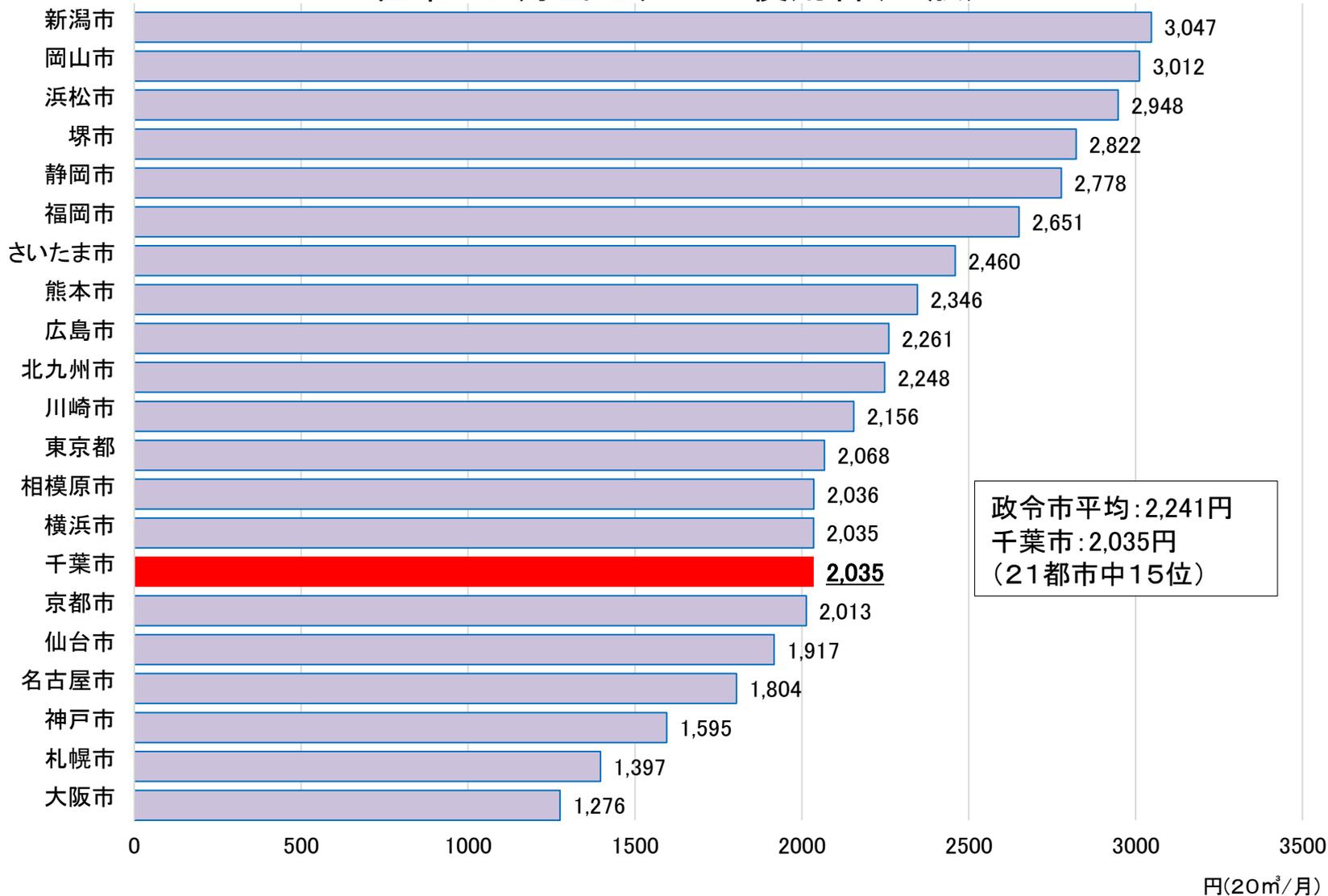
千葉県平均:2,414円  
千葉市:2,035円  
(29市中27位)

# 3 資金収支推計（令和4年8月時点）

## (4) 他政令都市との使用料水準比較(試算)

1世帯1か月当たり20m<sup>3</sup>使用料(一般)

令和3年7月1日現在(税込)



# 下水道事業中長期経営計画の見直し

## 《計画見直し方針》

- 下水道施設の老朽化に伴う維持管理・改築等の経費の増加  
⇒令和4年度に策定する新たなストックマネジメント計画に基づき、さらなる修繕・改築費用等の縮減及び平準化を図っていく
- 新型コロナウイルス感染症の影響による下水道使用料の減収  
⇒使用水量減少の主な要因を分析するとともに、今後の社会情勢を注視しつつ、適切な収入予測を行う
- 物価高騰や燃料費等の上昇による処理場・ポンプ場の維持管理費の増加  
⇒原油や天然ガスなど燃料価格の変動を注視し、適切な維持管理費の予測を行うとともに、電気料金高騰に対する国の支援策についても注視していく

下水道使用料については、市民生活及び市内経済への影響を見極めながら、改定率や改定時期など、引き続き慎重に検討を進めていく